



令和7年3月21日（金）、徳島県消防学校の訓練塔において、石井・神山の両署救助隊及び救助係員の「令和6年度消防長査閲訓練」を実施しました。

この訓練は、実災害を想定したブラインド型訓練とし、災害発生時における相互の連携強化及び現場対応の向上を図ることを目的として実施したものです。

今後も各種災害を想定した合同訓練などを継続し、災害対応能力の向上を図るとともに、地域住民の安全・安心の確保に努めてまいります。